

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

## 阪急交通社グループ 旅行概況 (2月分) について

2026年2月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

### 株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	13,568,093	11,556,428	117.4%
国内旅行	10,518,405	10,312,800	102.0%
訪日旅行	110,875	114,836	96.6%
合 計	24,197,373	21,984,064	110.1%

#### 【概況】

2月の営業概況は、総取扱額241億9,737万3千円、前年同月比110.1%となりました。

海外旅行は、2026年2月の出国日本人数が2019年同月比71.2%にとどまり、回復に向けた動きに停滞が見られます。

このような状況の中、当社では需要が堅調な欧州やエジプトを中心に、継続的な募集告知を行いました。昨今の需要の傾向を鑑み、各方面でビジネスクラスを利用する商品の販売を強化しました。

その結果、デラックスホテルを利用するエジプトや欧州の周遊型商品が好調に推移し、この2方面が前年を大きく上回りました。加えて、欧州、エジプト、およびアメリカにおけるビジネスクラス利用の商品や、ハワイのプレミアムエコノミー利用商品も取扱高を牽引しました。

2月の海外旅行の取扱高は、135億6,809万3千円となり、前年同月比117.4%と大きく前年を上回りました。

国内旅行は、観光庁発表の「宿泊旅行統計調査(第1次速報)」によると、2026年2月の日本人延べ宿泊者数は前年同月比 2.7%減となりました。依然として物価高による消費控えの影響がうかがえます。

このような状況の中、当社では冬季限定イベントの実施や、この時期ならではの魅力を訴求した商品展開により、需要の掘り起こしに注力しました。

その結果、東北の樹氷や北海道の雪まつり、流氷観賞ツアーが堅調に推移しました。また九州では、長崎ランタンフェスティバル開催時期に当社の貸切イベントを組み込んだ付加価値商品が伸長したほか、温暖な沖縄においても、八重山諸島を巡る周遊商品が全体を牽引し、前年を上回りました。

2月の国内旅行の取扱高は、105億1,840万5千円、前年同月比102.0%となりました。

## 株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	2,608,627	2,488,721	104.8%
国内旅行	146,169	134,086	109.0%
訪日旅行	10,928	9,647	113.3%
合 計	2,765,725	2,632,455	105.1%

### 【概況】

2月の営業概況は、総取扱額27億6,572万5千円、前年同月比105.1%となりました。

海外旅行は、旧正月の影響で中国の需要が減少した一方、他方面は堅調に推移し、取扱高は前年同月比104.8%となりました。

国内旅行は、企業活動の活性化に伴い業務出張の取扱いが伸長し、取扱高は前年同月比109.0%となりました。

## 2 社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	15,878,553	13,717,408	115.8%
国内旅行	10,642,625	10,422,733	102.1%
訪日旅行	121,803	124,483	97.8%
合 計	26,642,981	24,264,624	109.8%

※2社間の取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724